

東京富士大学 カウンセリング体制の状況

カウンセリング体制については、学生相談室を設置し、臨床心理士が対応している。学生が快適な大学生活を送るために、学修上の悩みや、メンタルヘルスに関する悩み、さらに、就職支援までを視野に入れて、万全なサポート体制を整えている。

学生相談室のスタッフは教員3人である。その中の2人は臨床心理士の資格を有しており、有資格者の1人は専任カウンセラーとして相談室開室日に常駐している。開室日数は月曜日、水曜日、金曜日の週3日である。開室時間は月曜日14:00~19:00、水曜日11:00~19:00、金曜日12:00~19:00である。主に、次の活動を行っている。

○相談業務

平成28年(2016)年度の年間相談件数は337件(学生294件、保護者及び教職員43件)であった。相談内容としては、学修上の相談よりもメンタルヘルスに関する相談が多くなっている。医療機関に受診している学生の場合は、学生や保護者の了解を得て医療機関との連携を図っている。最近は保護者の相談が増えてきている。

○PR活動

- ・学生相談室パンフレットの配布
- ・新入生オリエンテーションにおける学生相談室の紹介
- ・「学生相談室だより」配布

○「学生生活意識調査」の実施

毎年春に全学生を対象に質問紙調査を実施している。学生のメンタルヘルスと学修上の問題傾向の調査、さらに具体的な悩みの調査を目的に実施している。調査結果のフィードバック面接を通じて継続相談に繋げている。

○「発達障害を持つ学生」の支援

学務課やキャリア開発センターと連携を図りながら、「発達障害を持つ学生」の学生生活支援及び就労支援を行っている。

○留学生対応

交際交流センターとの連携を図りながら、留学生の支援を行っている。